

実践的指導で、知識や技術を身につける

1年次から鍼灸学に関する専門知識を学び、治療技術を身につけます。講義中も身体に触れ、実際の筋肉や骨などの構造を確かめながら実践的に理解を深めます。また、本学附属の鍼灸センターやクリニックでの実習を通し、高度な専門知識や技術を持った鍼灸師を育成します。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	一般教養と基礎医学を学び医療人としての基礎を築く	基礎医学の知識をベースに東洋医学を学ぶ	実習を通して鍼灸治療の一連の流れを身につける	実習で臨床能力を磨き鍼灸学の知識を深める
臨床能力の育成	経絡経穴学 基礎刺鍼手技実習 基礎鍼灸手技実習 人体構造学 人体機能学	理学的検査法実習 鍼灸安全学 臨床鍼灸手技実習 人体構造学・機能学実習 触診解剖と刺鍼手技	整形外科／神経内科／内科臨床鍼灸学 レディース臨床鍼灸学 スポーツ鍼灸学 医療面接 日本伝統鍼灸治療学	眼科／耳鼻科／泌尿器／皮膚科臨床鍼灸学 附属鍼灸センター実習 カンファレンス 症例報告の書き方・発表の仕方
研究的思考能力の育成	情報リテラシー	鍼灸治効理論Ⅰ	鍼灸治効理論Ⅱ、鍼灸治効理論実習 臨床効果の評価法 卒業研究Ⅰ	鍼灸治効理論Ⅲ 卒業研究Ⅱ
共通基礎科目	●自然の科学 生き物の科学／物質の反応／物質の科学 ●人間と社会 学びの技法入門／心理学概論 社会保障の基礎／健康の創造 健康スポーツ／法学 ●言語とコミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ 中国語Ⅰ・Ⅱ ●情報処理 情報リテラシーⅠ・Ⅱ	●言語とコミュニケーション 英語コミュニケーション		
専門基礎科目	●医学教養 医学概論 カウンセリング入門 ●現代医学の基礎 人体構造学Ⅰ・Ⅱ 人体機能学Ⅰ・Ⅱ 生化学	●医学教養 社会鍼灸学 手技療法入門 ●現代医学の基礎 人体構造学Ⅲ／人体構造学実習 人体機能学Ⅲ 人体機能学実習／病理学 衛生学・公衆衛生学／免疫学 ●現代医学の臨床 臨床医学総論Ⅰ・Ⅱ 臨床医学各論Ⅰ 整形外科学 リハビリテーション医学Ⅰ メンタルヘルスケア学	●医学教養 関係法規／中薬薬物学 医療人のための英語 ●現代医学の基礎 解剖生理学演習Ⅰ・Ⅱ 臨床薬理学 病理学実習 ●現代医学の臨床 臨床医学総論Ⅲ 臨床医学各論Ⅱ・Ⅲ リハビリテーション医学Ⅱ 診療所実習 PICK UP 救急法 栄養学	●医学教養 鍼灸経営論 ●現代医学の臨床 臨床医学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
専門科目	●鍼灸医学の基礎 鍼灸の基礎 経絡経穴学Ⅰ・Ⅱ 東洋医学概論Ⅰ 基礎刺鍼手技実習 PICK UP 基礎鍼灸手技実習 PICK UP	●鍼灸医学の基礎 鍼灸安全学 東洋医学概論Ⅱ 鍼灸治効理論Ⅰ PICK UP 触診解剖と刺鍼手技 臨床鍼灸手技実習Ⅰ・Ⅱ 鍼灸術と運動法 鍼灸の歴史 ●鍼灸医学の臨床 理学的検査法実習 整形外科臨床鍼灸学Ⅰ ●国際鍼灸研修	●鍼灸医学の基礎 鍼灸と統合医療／鍼灸東洋医学臨床論 鍼灸治効理論Ⅱ／臨床効果の評価法 鍼灸東洋医学演習Ⅰ・Ⅱ／鍼灸治効理論実習 ●鍼灸医学の臨床 整形外科臨床鍼灸学Ⅱ 神経内科臨床鍼灸学 内科臨床鍼灸学Ⅰ・Ⅱ 医療面接 PICK UP 日本伝統鍼灸治療学 レディース臨床鍼灸学 スポーツ鍼灸学Ⅰ ●卒業研究Ⅰ	●鍼灸医学の基礎 鍼灸治効理論Ⅲ 症例報告の書き方・発表の仕方 鍼灸理論演習 鍼灸医学総合演習Ⅰ・Ⅱ ●鍼灸医学の臨床 カンファレンス／学外関連施設実習 附属鍼灸センター実習Ⅰ・Ⅱ PICK UP 泌尿器・皮膚科臨床鍼灸学 眼科・耳鼻科臨床鍼灸学 スポーツ鍼灸学Ⅱ 臨床研究実習 ●卒業研究Ⅱ

※カリキュラムは変更になる場合があります。

Look / 1年生 前学期の時間割 (太字…必修科目)

	時間	MON	TUE	WED	THU	FRI
1時限	9:00～10:30			中国語Ⅰ		英語Ⅰ
2時限	10:40～12:10	基礎刺鍼手技実習	人体構造学Ⅰ(総論・組織)	基礎鍼灸手技実習	東洋医学概論Ⅰ	カウンセリング入門
3時限	13:00～14:30	生き物の科学(生物学)	人体構造学Ⅰ(総論・組織)	情報リテラシーⅠ	鍼灸の基礎	
4時限	14:40～16:10	法学(日本国憲法)	経絡経穴学Ⅰ	学びの技法入門	健康の創造(体育理論)	人体機能学Ⅰ
5時限	16:20～17:50		経絡経穴学Ⅰ	学びの技法入門	物質の反応(化学)	人体機能学Ⅰ

※2022年度入学生のカリキュラム

PICK UP CURRICULUM



基礎刺鍼・施灸手技実習

基礎実習では、鍼灸治療を行うための基本動作やその手技を修得し、全身の目標とする部位に、安全に鍼や灸ができる力を養います。鍼の実習では、最初は人体ではなく、練習器でしっかりと練習してから人体へ鍼をします。数多くの実習を繰り返す行うことで、より高度で実践的な技術を修得するための土台を構築します。



附属医療施設における実習

本学附属クリニックでの臨床実習では、実際の診療現場を肌で感じ、医師との連携、問診を含む医療面接の方法、診察から診断までの過程を学びます。また附属鍼灸センターには毎日多くの患者さんが来院するので、多くの症例を臨床現場で学ぶことができると同時に、担当した患者さんに関するディスカッションを通じて、実践的な臨床能力の向上を目指します。



鍼灸治効理論Ⅰ

鍼灸刺激によって起こる生体反応を理解するために必要な神経系の構造と機能の概要、特に体性器官からの入力に関わる神経生理学について学んでいきます。



医療面接

OSCE(客観的臨床能力試験)のなかでも重要な医療面接の目的や意義、医療面接と問診の違いや、必要な態度と技法、質問の方法などについて、実践的に学びます。また、患者さんの解釈モデルの提示、患者さんの特性に応じた面接などを理解したうえで、学生が患者役と面接者役になってのロールプレイを実施しています。

アメリカ(ボストン)研修プログラム

有名なHarvard Medical School(ハーバード大学医学部)でも鍼灸が研究されています。そのHarvard Medical Schoolで活躍する代替医療の世界的権威であるKaptchuk先生と、MRIの研究で有名なKong先生を本学の客員教授として招いています。アメリカで最も歴史の古い鍼の大学院(NESA)での授業への参加や、世界一の教育研究機関の見学、世界の鍼研究を牽引するKaptchuk先生とKong先生との学術交流などを行う「ボストン研修」を実施しています。(詳しくはP.47「海外研修」へ)



鍼灸学科客員教授
写真左: Ted Kaptchuk (Professor of Medicine, Harvard Medical School)
写真右: Jian Kong (Associate professor, Harvard Medical School)